

御門徒紹介 PART7

この度はえんまんじ cafe の手作り作品・リメイク服でお馴染みの S さんのご紹介です。奥ゆかしい方で、顔写真・お名前 NG でした。でもサービス精神旺盛で、何でも聞いて〜と笑顔で色んなことを聞かせて下さいました。お参りのおつとめよいもかない長くなったのは秘密です(*^▽^*)(笑)

先ずはえんまんじ cafe で展示、貰われた方が試着、または別日に着て下さった様子をご覧ください。



ご自宅にお邪魔すると沢山の洋服。これは全てSさんが着物を解いてご自身でリメイクされたお洋服です。どれもとても素敵な作品でお店が出来るほどたくさん♪気に入って着られているものも勿論ですが、袖を通してないものの方が多いそうです。

お母様、おば様、ご自身のお着物を解いて作られました



中には買った生地、着物を譲り受けて作られたものも



どの作品も素敵ですが、ご自身で着られているものを見せていただくと、ベストも付いていてオシャレ！！

ベストは同じ生地を使われているものもありますが、アクセントに喪服等のダークな色を合わせてスタイリッシュに出来ている作品もありました☆



柄を合わせなければ1着の着物から普通のシャツだと2着作れるそうです。

ベスト付きだと1着。余った布はお揃いでバッグにしたり、気楽に使えるエコバッグにされるそうです。



こちらはSさんのおば様の着物から作られた服とバッグ



作品は全てこちらの家庭用ミシンとロックミシンを使って作られているようで、糸やボタン等の細かい道具も、それぞれ綺麗に収納されていました。ここからあれだけのたくさんの作品が、主に家庭用ミシンから誕生しているかと思うとホントに技術の凄さを感じられます。



リメイク服を作る工程は

着物を解く→洗う→乾かす→アイロンでしわを伸ばす→生地を裁つ
→下張り→縫う→ボタン付け

これだけの工程があってやっと出来るんですね。生地を裁つまでの準備が大変です。大まかなので細かい作業はもっとあります！！

パターンもたくさん置いてありました。

何でも大事にされるSさん。形を変えて新たな命が吹きこまれます✧

そして作られた中で一番のお気に入りの服は生地も素敵ですが、ポケットの柄合わせも凄く綺麗。ボタンもピッタリのものを選ばれていて、お気に入りも納得の素敵な作品でした✧

これだけ作られても飽きることなく、難しい生地で綺麗に出来た時の達成感は凄く嬉しいものだと言ってくれるSさん。根気と探求心が素晴らしい。そしてご報謝のお気持ち。いただいた作品は作られるご苦勞を感じながら大切にいたします。





さて、左の写真は誰でしょうか？

そう、堂本光一さんです。この写真はお気に入り！Sさんは根っからの大ファン！！おつとめが終わって振り返ると一面「光一」☆大きなポスターいっぱい！

私も世代なので話が盛り上がりました。因みに私は剛派でした(笑)



光一ファンになられたのは娘さんきっかけだそうで、2005年からの『EndlessSHOCK』は1回抜けただけで後は見に行かれたそう。千ヶツ当てるのも凄い！梅田でも見られたそうですが、やっぱり東京の帝国劇場での舞台は最高だそうですよ。テレビではわからない演技・所作が細かいところまで臨場感たっぷりにかんじられると目を輝かせながら聞かせてくださるSさん。



大きなポスターはもちろん、『EndlessSHOCK』の雑誌も光一の記事はコピーしてラミネート加工。それを年毎に綺麗にファイリングしてわかりやすく収納されていきました(*^^)v



たくさんのグッズのコレクション！全てどこに何があるかわかるように♪

貴重なグッズや、初めて開封するものまでも惜しげなく披露してくださいました。写真はグッズのほんの一部です。20数年のファン歴は凄い！



昔のドラマ等は全てDVDや録画、ビデオで保管。ラジオのカセットテープまでありました。タオルやトレーナー等もたくさん。ここまでの熱心な押し活見たことありません。Sさんのようなファンがいて光一さんは幸せですね(´´)♪



左の写真は 現「DOMOTO」元「Kink iKids」のコンサート、ソロコンサートに行くために自作された光一のロゴ入りシャツ。こんなところにも裁縫の技術が☆☆☆

遺憾なく発揮されている裁縫の技術は、デザイナーをされていたお母様に教えてもらったものだそうです。お仕事としてこの技術で娘さん4人を立派に育てられ、今はたくさんのお孫さんにも恵まれてるSさん。着物をリメイク服に大量に作られ始めたのは引退されてここ5～6年だそうです。えんまんじ cafe にて展示お譲りしています。是非ご覧ください。そしていただく方は大事に着てくださいね♪